

音楽

音楽科においては、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさなどを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ることが大切です。

◆ 「内容のまとめり」の考え方

音楽科における「内容のまとめり」は、学習指導要領の「第2 各学年の目標及び内容」「2 内容」に次のように示されています。

(例)〔第3学年及び第4学年〕
 「A表現」(1)歌唱 及び〔共通事項〕(1)
 「A表現」(2)器楽 及び〔共通事項〕(1)
 「A表現」(3)音楽づくり及び〔共通事項〕(1)
 「B鑑賞」(1)鑑賞 及び〔共通事項〕(1)

◆ 内容のまとめりごとの評価規準の作成

①学習指導要領に示された教科及び学年の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを確認します。

※「評価の観点及びその趣旨」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「改善等通知」(別紙4 14ページ)を参照してください。

②音楽科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認します。

※〔知識及び技能〕は「知識・技能」、〔思考力、判断力、表現力等〕は「思考・判断・表現」と対応しています。

③観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

※「観点ごとのポイント」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料「小学校音楽(32ページ)を参照してください。

【「B鑑賞(1)鑑賞」及び〔共通事項〕(1)の内容のまとめりごとの評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。	思 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。	態 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

「B鑑賞」の題材においては、技能についての評価規準は設定しません。

◆ 題材の評価規準の作成

音楽科においては、学習指導要領に示された「内容のまとめり」は、「A表現」と「B鑑賞」の2つの領域があり、「A表現」は、歌唱、器楽、音楽づくりの3つの分野、「B鑑賞」は、それ自体が1つの領域となっています。

〔共通事項〕は、2つの領域において共通に必要な内容であることから、「内容のまとめり」ごとの評価規準を踏まえ、題材ごとに題材構成や学習過程に沿った具体的な評価規準を作成することが重要です。

例えば、第3学年の「B鑑賞」に関わる題材を設定する際、学習指導要領の目標や内容、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、次のように題材ごとの評価規準を作成します。

【「地域の祭り囃子に親しもう」の題材の評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 ① 祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。	思 ① 祭り囃子の音色、リズム、速度、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。 思 ② 祭り囃子の音色、リズム、速度、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。	態 ① 祭り囃子の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

表現領域では、〔共通事項〕A及び表現領域に関する内容、鑑賞領域では、〔共通事項〕A及び鑑賞領域に関する内容の事項に応じて、それぞれ具体的内容に置き換え、文末を「～している」とし、評価規準を設定します。

「評価の観点の趣旨」の「表現及び鑑賞」の部分は、扱う領域や分野に応じて「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」より選択して置き換えます。
 なお、「学習活動」とは、その題材における「知識及び技能」の習得や、「思考力、判断力、表現力等」の育成に係る学習活動全体を指しています。

◆ 学習評価に関する事例

1 題材名

「地域の祭り囃子に親しもう」

2 内容のまとめ

第4学年 「B鑑賞」(全3時間)

3 題材の目標

- (1) 祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付く。
- (2) 祭り囃子のリズム、反復、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、祭り囃子の音楽のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
- (3) 祭り囃子の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に祭り囃子の鑑賞の学習活動に取り組む、地域の祭り囃子に親しむ。

4 題材の評価規準

※前ページ【「地域の祭り囃子に親しもう」の題材の評価規準(例)】を参照

5 指導と評価の計画(3時間) ※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時間	○ねらい・主な学習活動	知	思	態	評価方法	【POINT】
1	○祭り囃子の音楽の特徴に興味をもち、祭り囃子の学習についての見通しをもつ。 ・「祭り囃子はどんな音楽だろう」という疑問から、「葛西囃子」を聴く。 ・東京の「葛西囃子」を紹介した手紙から、埼玉の祭りの囃子についても、知りたい、紹介したいという願いをもつ。			①	行動観察 発言内容 ワークシートの記述内容	「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、評価規準に照らし、祭り囃子の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている学習状況を評価します。
2	○地域に伝わる祭り囃子の締太鼓や大太鼓、かね等の体験を通して、地域の祭り囃子の音楽の特徴に気付く。 ・地域の保存会の人の演奏や話を聴き、音楽の特徴に気付く。 ・締太鼓や大太鼓、かね等の体験を通して曲想の変化を感じ取ったり音楽の構造を捉えたりする。 ・口唱歌や締太鼓、大太鼓、かね等の体験を通して実感した、地域の祭り囃子の音楽の特徴をワークシートに書く。	①	①	①	発言内容 ワークシートの記述内容	【POINT】 体験活動の場面では、観察を中心に、ワークシートの記述内容も補完的に用いながら評価します。その際、口唱歌を覚えて、楽しんで締太鼓等のリズムを打ちながら、音楽の特徴を捉えようとしているかなど、知識の評価との関連を図ることが大切です。
3	○地域の祭り囃子の音楽の特徴について気付いたことを伝え合うとともに、音楽や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 ・地域の祭り囃子の体験を振り返り、音楽の特徴について気付いたことを伝え合う。 ・地域の祭り囃子のよさを伝える紹介文を書き、その内容を伝え合う。 ・祭り囃子の音楽の学習を振り返り、友達の意見を聴いてなるほどと思ったことや、最初に聴いた時と比べて聴き方が変わったことなどを書く。	①	②	①	行動観察 発言内容 ワークシートの記述内容	【POINT】 ・祭り囃子のよさを伝える紹介文を書き、伝え合う場面では、今まで学んだことを生かして書こうとしているかについて、発言の内容、観察(表情・行動)や、ワークシートの記述から評価します。 ・これまでの学習の振り返りを書く場面では、友達から学ぼうとしていたか、聴き方が深まったことを自覚できているかについて、機会があるごとに子どもに働きかけ、最終的に、本時の振り返りの記述から評価します。

【児童の振り返りのワークシート例】
・はじめは、しめだいこや大だいこの音の重なりへのへん化に気づけなかったけれど、Aさんの意見をきいてもう一度きくと、本当にかわっていると分かった。

【POINT】
「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、ある場面に限定して実施するのではなく、題材を通じて行い、それを学習の改善や指導の改善に生かすとともに、観点別の学習状況を記録に残すことにつなげていくことが大切です。